

道徳教育推進教師研修会（授業研究会）

有田中学校と塩田中学校と成和小学校で、道徳教育推進教師研修会の授業研究会を行いました。

有田中学校（9月15日）

主題「夢や理想の実現に向けて前向きに生きる生徒の育成」のもと、研究の重点として

- ① 全職員が授業に関わる
 - ② 全生徒が授業に参加し自分の考えを持つような道徳の授業づくり
 - ③ 道徳を中心に据えた学校の環境整備
- の3点について実践を重ねてくれました。



授業者	松尾 洋子 先生	宇都宮 麻衣 先生	楠 昌紘 先生
指導助言者	田中 千恵子 指導主事 (東部教育事務所)	中村 尚志 准教授 (佐賀大学文化教育学部)	足立 成美 先生 (北方中学校)
学年	1年	2年	3年
主題名	思いやりの心	信頼でつながる友情	よりよい生き方
教材名	銀の燭台	あるピエロの物語	甲子園でプレーがしたい

《授業研究会参加者より》

- 「銀の燭台」は有名な教材ですが、生徒の側から見れば、難しい内容だと思います。しかし、松尾先生の臨場感のある授業に感動しました。
- 自分の学級でも、班活動やカードの使用など是非実践したいと思いました。
- 旅行学習（席を立てて自由に友達と意見交流をする学習）はすばらしい。新しい道徳のやり方の方法の一つだと思います。
- 話し合いの内容が、価値を深められるもので良かったです。自分もそのような授業をできるようになりたいと思いました。
- 道徳の授業の作り方、練り方、作られている先生方の思い等のプロセスを見ることができて、非常に有意義な会でした。

塩田中学校（10月13日）

「二通の手紙」（私たちの道徳）を使った授業でした。「心のものさし」を使って、生徒の意見を明確にして考え合わせる展開でした。小学校からも13名が参加されました。

- 授業者：池田 丈夫 先生
- 指導助言者：金丸 ゆか 先生
(鬼塚小学校ST)
- 学年：2年
- 主題名：規則について考える
- 教材名：二通の手紙（文部科学省）

〔2つの参観の視点〕

- 1 「心のものさし」を利用した
子どもの意見の拾い上げ方
- 2 話し合い（議論）のさせ方



《金丸ゆか先生の指導助言より》

1 「心のものさし」のよさ

①立場を明確にして考えている。②書くことが苦手な生徒も参加することができる。③根拠を考え、示す必要がある。④子どもも教師も、みんなの考えを把握できる。⑤意図的指名ができる。

2 議論のさせ方について

フリーで交流させていたが、交流の場は大切。挙手指名だと固定化、限定化されやすい。意見の違う人と交流するのもよい。「それはなぜ」「意見は違うけどわかるよ」などのキャッチボールを子どもにさせる。いろいろな考えを受け入れながら議論することが大切。

《授業研究会参加者より》

- 「心のものさし」を利用した道徳は行ったことがなく、大変勉強になりました。とても取り組みやすく、生徒の意見も引き出せそうでした。
- 小学校と中学校の道徳の相違点がわかった。基本的には同じところばかりなので、小学校でも工夫し授業を行わないといけなと感じました。

成和小学校（10月20日）

授業者の徳永早苗先生は、10年前に唐津で行われた猿渡瞳さんのお母さんの講演会を聞いて、いつかこの資料で授業をしたいと思っておられたそうです。 ※ 猿渡瞳さんは、骨肉腫と診断され余命半年と宣言されてからもその境遇を嘆かず必死に生き、13歳でこの世を去られました。

- 授業者：徳永 早苗 先生
- 指導助言者：金丸 ゆか 先生
(塚塚小学校ST)
- 学年：6年
- 主題名：命がかがやかせて
- 教材名：命を見つめて（学研）

〔2つの参観の視点〕

- 1 展開や終末時に使う映像の効果的な提示の仕方
- 2 小グループでの交流のさせ方



《金丸ゆか先生の指導助言より》

- 生の映像は心に響く資料になりうる。普段からぱっと授業にもってこることができる。交流はフリーでさせる（伝え、知り、認める。比べる。）。自分の意見と違う場合は、質問を投げかけさせる。2往復半以上のキャッチボールをさせ、多様な価値に気づかせる。理由をしっかりと交流させることが大切である。

《授業研究会参加者より》

- すばらしい授業提案でした。本校の6年生にも同じ感動を味わわせたいと思いました。
- 6年生が真剣に考え、涙を流す様子を見て、資料のよさや徳永先生の授業のすごさをひしひしと感じました。
- 映像の効果的な使い方、教師の発問など大変参考になりました。自分の授業も工夫したいと改めて思いました。

お知らせ

道徳教育の改善・充実に係る研修会が1月に行われる予定です。

- 北部支所管内 平成29年1月10日(火) 15:00~16:30 唐津総合庁舎大会議室
- 杵西・藤津地域 平成29年1月26日(木) 15:00~16:30 武雄総合庁舎大会議室

